

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 日本ソフトウェア

上場取引所 東

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,777	99.1	478	—	505	—	398	—
25年3月期第3四半期	1,395	△29.6	△78	—	△66	—	△124	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 462百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △104百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	91.04	89.85
25年3月期第3四半期	△29.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,506	2,026	80.9	409.36
25年3月期	2,570	1,020	39.7	240.71

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,026百万円 25年3月期 1,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当1円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,413	34.9	441	—	465	—	363	—	82.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,009,100 株	25年3月期	4,299,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	58,000 株	25年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,379,924 株	25年3月期3Q	4,231,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び1株当たり純資産金額を算定しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和をはじめとした経済政策や金融政策を背景に、円安・株高基調が進み、企業収入や個人消費が改善されるなど、緩やかな回復がみられました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、新型ハードウェアであるPlayStation4が昨年11月に海外で発売され、世界実売台数が400万台を超える人気となっております。また、同ハードウェアは国内でも当年2月に発売が予定されているため、今後の業界の動向に期待が高まってまいりました。コンシューマーゲーム業界におきましては、年末商戦の影響で市場の活性化がみられましたが、前年同期と比べてハードウェア・ソフトウェアの販売数は減少しており、市場規模は縮小しております。モバイル業界におきましては、ソーシャルゲーム市場への大手企業の参入や課金システムをはじめとしたビジネスモデルの多様化等により、競争が激しく、厳しい市場環境となっております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきまして、20周年記念タイトルを含む12タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにてソーシャルゲームの配信を行うとともに、Android OS及びiOS対応のゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツ等の配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲーム等の配信を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,777,221千円（前年同期比99.1%増）、営業利益478,771千円（前年同四半期は78,702千円の営業損失）、経常利益505,827千円（前年同四半期は66,509千円の経常損失）、四半期純利益398,749千円（前年同四半期は124,404千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全12タイトルの発売を行いました。

国内市場では『魔界戦記ディスガイア3 Return PlayStation Vita the Best』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Z/X 絶界の聖戦』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『魔女と百騎兵』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『アルカディアスの戦姫』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『クリミナルガールズ INVITATION』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）の5タイトルを発売いたしました。

海外市場では『Black Rock Shooter The Game』（邦題：『ブラックロックシューター THE GAME』、PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『Time and Eternity』（邦題：『時と永遠～トキトワ～』、PlayStation3専用ゲームソフト）、『Etrian Odyssey IV』（欧州版、邦題：『世界樹の迷宮IV 伝承の巨神』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『SHIN MEGAMI TENSEI: DEVIL SUMMONER: SOUL HACKERS』（欧州版、邦題：『デビルサマナー ソウルハッカーズ』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『Disgaea D2:A Brighter Darkness』（邦題：『ディスガイア D2』、PlayStation3専用ゲームソフト）、『Dragon's Crown』（欧州版、邦題：『ドラゴンズクラウン』、PlayStation3及びPlayStation Vita専用タイトル）、『The Guided Fate Paradox』（邦題：『神様と運命革命のパラドクス』、PlayStation3専用ゲームソフト）の7タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズの製作や当社ホームページでの通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高2,066,394千円、営業利益220,368千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにて『ディスガイア魔界コレクション』の配信を行うとともに、Android OS対応ゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を行いました。また、iOS対応ゲームアプリ『マメクエ』の配信を行いました。さらに、PlayStation Networkを通じて追加ダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高491,870千円、営業利益318,674千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高100,421千円、営業利益88,640千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから昨年10月に発売されました『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高118,534千円、営業利益38,267千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,506,463千円となり、前連結会計年度末に比べ64,141千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末に比べ405,535千円の減少)、仕掛品の減少(前連結会計年度末に比べ105,440千円の減少)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ209,403千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は479,687千円となり、前連結会計年度末に比べ1,070,031千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ900,000千円の減少)、買掛金の減少(前連結会計年度末に比べ61,856千円の減少)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ143,438千円の減少)等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,026,775千円となり、前連結会計年度末に比べ1,005,890千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、公募増資及び第三者割増増資による普通株式発行により資本金が増加(前連結会計年度末に比べ273,797千円の増加)、資本準備金が増加(前連結会計年度末に比べ273,797千円の増加)したこと、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ394,508千円の増加)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当第3四半期の進捗状況及び第4四半期発売予定タイトルの状況等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年2月7日公表の「業績予想及び配当の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,256	860,543
受取手形及び売掛金	690,538	285,002
商品及び製品	48,265	127,066
仕掛品	215,971	110,530
繰延税金資産	4,142	4,641
その他	167,529	128,504
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,752,003	1,514,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	343,004	323,880
機械装置及び運搬具(純額)	4,583	7,003
土地	212,687	204,607
その他(純額)	31,730	29,960
有形固定資産合計	592,006	565,451
無形固定資産		
投資その他の資産	11,307	10,653
投資有価証券	185,593	394,996
その他	29,693	20,772
投資その他の資産合計	215,286	415,769
固定資産合計	818,600	991,873
資産合計	2,570,604	2,506,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,739	142,883
短期借入金	900,000	—
1年内返済予定の長期借入金	46,872	—
未払金	98,650	63,571
未払法人税等	9,103	49,069
賞与引当金	27,987	30,845
売上値引引当金	49,550	98,848
その他	51,327	77,561
流動負債合計	1,388,230	462,780
固定負債		
長期借入金	143,438	—
退職給付引当金	14,227	13,863
その他	3,822	3,043
固定負債合計	161,488	16,906
負債合計	1,549,718	479,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,180	519,977
資本剰余金	236,180	509,977
利益剰余金	586,001	980,510
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,051,490	1,993,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,302	6,750
為替換算調整勘定	△34,907	26,431
その他の包括利益累計額合計	△30,604	33,181
純資産合計	1,020,885	2,026,775
負債純資産合計	2,570,604	2,506,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,395,061	2,777,221
売上原価	712,959	1,510,398
売上総利益	682,101	1,266,822
販売費及び一般管理費	760,803	788,051
営業利益又は営業損失(△)	△78,702	478,771
営業外収益		
受取利息	1,501	1,122
受取配当金	2,316	2,228
為替差益	—	33,273
投資事業組合運用益	11,694	—
その他	3,879	4,499
営業外収益合計	19,391	41,124
営業外費用		
支払利息	4,831	4,191
株式交付費	—	7,227
為替差損	2,336	—
支払手数料	—	2,149
投資事業組合運用損	—	467
その他	30	32
営業外費用合計	7,198	14,068
経常利益又は経常損失(△)	△66,509	505,827
特別利益		
投資有価証券売却益	90	1,064
子会社株式売却益	3,378	—
特別利益合計	3,468	1,064
特別損失		
固定資産売却損	—	781
減損損失	—	18,595
固定資産除却損	2,509	—
投資有価証券評価損	3,900	—
特別損失合計	6,409	19,376
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69,451	487,514
法人税等	55,575	88,764
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125,026	398,749
少数株主損失(△)	△621	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△124,404	398,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△125,026	398,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,325	2,448
為替換算調整勘定	26,585	61,338
その他の包括利益合計	20,260	63,786
四半期包括利益	△104,765	462,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,144	462,536
少数株主に係る四半期包括利益	△621	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月18日開催の取締役会決議に基づき、平成25年11月5日を払込期日とする公募による新株発行並びに平成25年12月4日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関する第三者割当による新株発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ273,635千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が519,977千円、資本剰余金が509,977千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	973,186	246,563	74,441	100,869	1,395,061	—	1,395,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	973,186	246,563	74,441	100,869	1,395,061	—	1,395,061
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△110,674	145,598	63,285	9,726	107,936	(186,638)	△78,702

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額186,638千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,066,394	491,870	100,421	118,534	2,777,221	—	2,777,221
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,066,394	491,870	100,421	118,534	2,777,221	—	2,777,221
セグメント利益又は又はセグメ ント損失(△)	220,368	318,674	88,640	38,267	665,950	(187,179)	478,771

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額187,179千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産の一部について、今後利用計画のない遊休資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において18,595千円であります。